

Invited Speaker

講演者紹介

神経から生態、基礎から応用まで、各分野の最前線で活躍する5名の研究者による招待講演をご紹介します



なぜ蚊は音で相手を見つけられるのか
— 配偶行動を支える聴覚メカニズム

上川内 あづさ
名古屋大学 大学院理学研究科



行動が駆動する集団生活の最適化：
サバクトビバッタの発育・繁殖戦略

前野 ウルド 浩太郎
国際農林水産業研究センター



群れに潜む自由

郡司 ペギオ 幸夫
早稲田大学 基幹理工学部 表現工学科



工学的アプローチからのシステム
行動学—マウスの気持ち、ちょっと
分からせてもらおみやあ—

竹村 裕
東京理科大学 創域理工学部



魚類生理に基づく養殖技術の開発
までの道のりとこれから

深田 陽久
高知大学 農林海洋科学部

Organized Symposium

「なぜたどりつけるの？」を科学する」生物ナビゲーションの魅力と最前線



コウモリの
音響ナビゲーション

飛龍 志津子
同志社大学 生命医科学部



渡り鳥の脳内コンパスは
なぜ北を指すのか

高橋 晋
同志社大学 大学院脳科学研究科



AI バイオロギングの
誕生とその歩み

前川 卓也
大阪大学

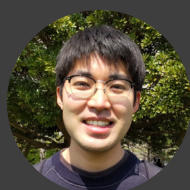


バイオロギングで探る、空・海・
大地を巡る動物たちの行動

依田 憲
名古屋大学 大学院環境学研究科

Proposed Symposium

社会行動を測り、操り、理解する：遺伝子から集団まで



ショウジョウバエに探る
集団行動創発の分子基盤

佐藤 大気
千葉大学 理学研究院



鮎の群れにおけるコント
ラリアン生成システム

新里 高行
筑波大学 システム情報系知能
機能システム専攻



メダカにおけるコントラ
リアン個体の行動影響と
その分子神経基盤

横井 佐織
北海道大学 大学院薬学研究院



ソングバードの歌発声学習
をモデルとした、社会性運
動学習の発達メカニズム

和多 和宏
北海道大学 大学院理学研究院